



### 【取組の目的】

原子力施設に近い地域に立地する特徴を生かし、地域に存在する重要課題に対する取り組みの過程で課題解決力、社会実装力、国際性そして創造性を引き出す教育プログラムの開発と地域貢献を同時に目指す。

### 【取組の内容】

全学組織の地域エネルギー・防災教育研究センター（仮称）を立ち上げ、以下の取り組みから目的とする教育プログラムの開発と地域貢献を目指す。

- ①原子力や社会実装に関する授業・実験・実習・研究の実施に向けた環境の整備
- ②企業や原子力研究開発機構と連携した施設見学・実習・実験・共同研究の実施とその検討
- ③自然災害と原子力災害が同時に起こるような状況まで想定した高度防災教育の検討・実施

### 【工程表】

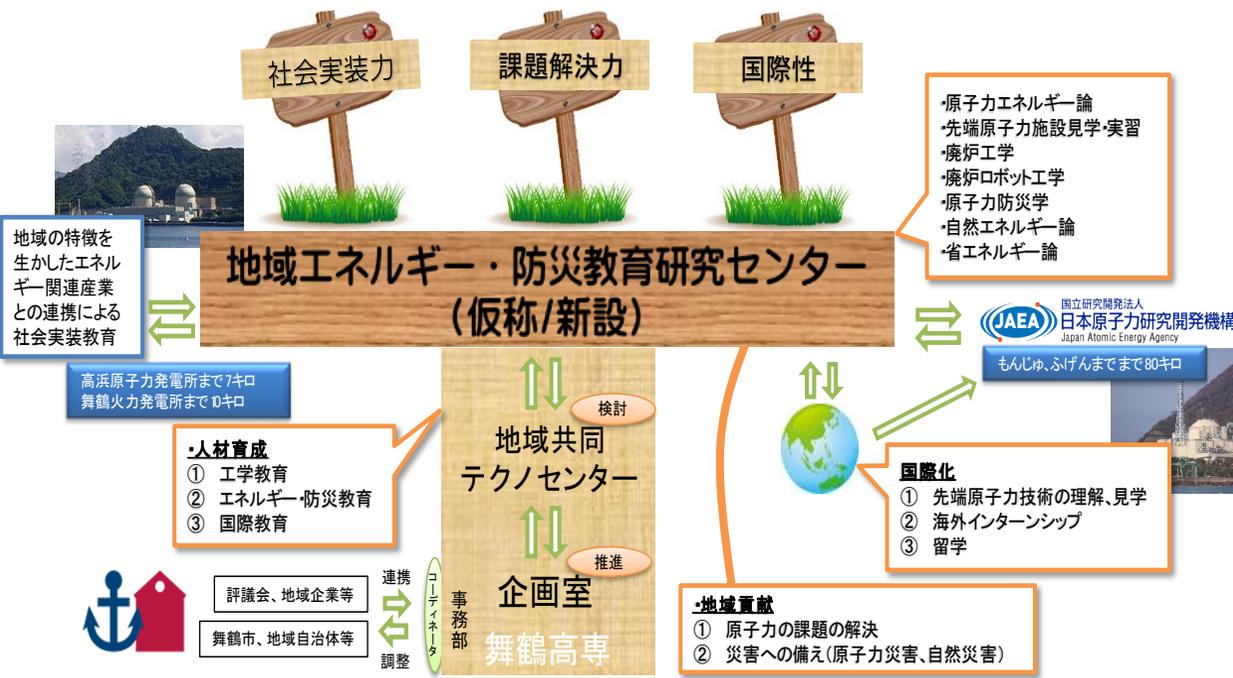
事業計画	H30.7月～	H30.10月～
新エネルギー・防災教育研究センターの設置と運用	スペースの決定	実施計画の工程管理
	職員の雇用	外部機関との連携・調整
	事業計画の確定	
特別講義、講座の準備・実施	教材開発	講座の実施
	物品購入	
広報・アンケート調査	HPによる情報発信	
	郵送による情報発信	
	アンケート調査 オープンキャンパス	シンポジウム

### 【成果指標】

評価項目	H29年度	H30年度
①原子力・防災また社会実装に関する教材開発・共同研究等の取り組み	3件	15件
②原子力・防災関連の講座の受講者数	200人	360人
③海外学生派遣または留学生の原子力または社会実装教育	3人	8人

### 【実施体制】

## 本校が育成する高度技術者像



### 【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

地域の特徴を生かした魅力ある高専教育を実現するために地域の特徴を最大限生かした教育プログラムを完成させる。

- ①原子力の難しい課題に向き合うことで養う高度な課題解決力を有する社会実装型技術者の養成と必要な授業科目の開講。
- ②課題解決の為の国際連携とTOEICスコアの向上。
- ③魅力ある高専教育による入学志願者の向上。